

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	老人福祉施設管理運営事業(日生)	コード	担当課係	市民福祉課福祉係
		02-01-04-05	担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成3年～		電話	72-1104
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	高齢者福祉		
	施策	生活支援サービスの充実		

事業について	
目的	施設を利用する高齢者に、より健康で社会参加をする場を提供することを目的とする
対象(誰のために)	福祉サービスを必要とするもの
内容	和気老人ホーム事業の応分負担と備前市デイサービスセンター「こうら荘」の管理

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
デイ開館日数	295 日		
デイ利用人数	10,141 人		
和気老人ホーム負担金	7,109,332 円		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	8,427	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,024	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	9,451	一般財源等	9,451	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.11	人		人
結果指標名	デイ開館日数			
結果指標量	295			
単位	日			
対前年比	0.00%			
事業費	2,341,357	円		円
単位当たりコスト①	7,937	円		円
結果指標名	デイ利用人数			
結果指標量	10,141			
単位	人			
対前年比	0.00%			
事業費	2,341,357	円		円
単位当たりコスト②	231	円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	平均利用人数	式又は説明	1日のデイ利用人数(34.4人) / 1日のデイ利用定員(45人)
成果指標量	76.4%		
対前年比	0.00%		
到達目標値	現状の維持	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等: 備前市デイサービスセンター設置条例等	地域福祉をリードする施設であり、今後も地域に根ざした施設サービスの提供を行う必要がある。高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれる。
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	「こうら荘」は平成18年度より指定管理者により運営されるため、コストについては軽減されるものと考えられる。
職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	施設スタッフによる、利用者に対するサービス意識の向上等利用者のニーズを意識した利用者本位のサービス提供を行っている。
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	施設運営委託先と情報交換等をより緊密にして、利用者の満足度アップに今後努めていかなければならない。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	295	結果指標量②	10,141
目標値	成果指標量	76.4%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	サービス意識の向上	平成18年度	利用者の増加

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。